

音楽科の学習

音楽は心を磨く教科です。自分自身の感性を働かせて、それぞれの時代の楽曲の美しさや面白さを味わいながら、自分自身の心の幅を広げましょう。

1 なぜ、音楽科の学習をするのでしょうか？

音楽科では、様々な音楽表現や活動を通して、音楽を愛好し技能を高め、感性を豊かにし、美しい物を美しいと感じる豊かな情操を育てることが学習のねらいです。

2 授業で準備するもの

- ・[毎回] 教科書、音楽ノート、ともしび、筆記用具
- ・[器楽] アルトリコーダー、器楽の教科書
- ・[合唱] TOMORROW

3 授業で大切にしたいポイント

音楽の授業には、歌うこと（歌唱）、楽器を奏ること（器楽）、自分で作ってみる（創作）、楽曲を聴く（鑑賞）の4つの内容があります。

- (1) まずは、やってみましょう。（得意・苦手は関係ありません）
- (2) 「なぜ？」や「どうして？」という問いを持って、授業に臨みましょう。
- (3) 自分の考えや友だちの考えを受け止めて、伝え合うことを楽しもう。
- (4) 「形は心＝心は形」気持ちのこもった拍手を送れる人になろう。



4 ノートの使い方

- (1) 大きくていねいな字で書き、色ペンやラインマーカーなどを使って、分かりやすく工夫しましょう。
- (2) 授業で使ったプリントはノートからはみださないように貼りましょう。
- (3) 欠席した時は必ずノートを写させてもらいましょう。

5 どうすれば、音楽科の力が更に伸びるのでしょうか？

- (1) まずは、やってみてうまくいったら取り入れて、うまくいかなければ別な方法を試して、何度も挑戦してみましょう。
- (2) 音楽や友達の発表のいいところ探しをして、褒め上手になろう！
- (3) 音や音楽を構成する8つの要素に注目してみよう。
- (4) 生活の中での結び付きを考えよう。

6 家庭学習はどのようにしたらいいのでしょうか？

- (1) まずは、授業の中で理解できるようにしましょう。
- (2) 授業時間にうまくいかなかった課題は長期休業期間を使って取り組みましょう。
- (3) インターネットを使って授業の内容をまとめた動画等を探してみましょう。

7 定期テスト前後の勉強はどのようにすればいいのでしょうか？

- (1) 定期テスト前に小テストのページでできなかった言葉を復習しよう。
- (2) その題材でのポイントを復習しよう。

8 音楽の楽しみ方

- (1) 様々なコンサートに出かけよう！（良い音楽は良い心を育てる）
日置地区には、伊集院文化会館や下野建設ホールがあります。素晴らしい演奏会が開催されるので、ぜひ行ってみよう！
- (2) 幅広いジャンルの音楽を学び、自分の好きな音楽の幅を広げよう。
好きな音楽だけではなく、授業では様々な時代やジャンルの音楽を学びます。その中で自分の好きな音楽の幅を広げてみましょう。
- (3) 儀式的な行事(入学式や卒業式、終業式や修了式など)や合唱コンクールなどで自分ができる最大限の協力をして、みんなで作り上げましょう。

